

あの日の上野駅

5月
2018年

鉄道の歴史と共に歩んできた駅

上野東京ラインの開業後、北からやってきた車両たちはそのまま上野を抜けて東京、品川へと走っていく姿も当たり前になった。ステンレスボディの通勤電車が行き交い、かつての寝台列車の発着ホームには、豪華なクルーズトレインがやってくる。ここ何年かで上野駅の風景は大きく変わった。だがこれは決して稀なことではなく、今までに幾度となく上野駅は変化してきた。より速く、より快適に、便利に、需要の変化に合わせて鉄道は常に変わっていくもので、その移りゆく様を肌で感じることもできたのが、上野駅という場所だ。

あの日の上野駅、といわれて貴方が思い浮かべた景色は、どんな車両が映っているだろう。ブルートレイン「北斗星」が廃止された時の人だかりは記憶に新しい。今でこそ長距離輸送の要は新幹線だが、地下4階の新幹線ホームが出来る前は、北の玄関口として多くの優等列車が上野駅に集っていた。初の気動車特急であるキハ81系の「はつかり」「いなほ」「つばさ」、165系による急行の代表格「佐渡」、名門485系と583系の各特急電車、そして10系、20系、24系の客車列車たち。蒸気機関車が牽引する普通列車なんでも、かつては当たり前のように見ることができた。故郷への帰省や集団就職、旅行で利用した方中にはカメラを手にして、上野駅のホームを行ったり来たりしながら名列車たちの共演を写真に収めた経験のある方もいらっしゃるだろう。

蒸機から電機へ、客車から気動車や電車へそして新幹線へ、これまでもそうしてきたように、これからも鉄道の歴史の第一線で、上野駅に集う列車たちは姿を変えながら、多くの人々を運んでいくだろう。

かつての名列車たちは、今はもう記録の中の存在だが、写真や本、映像、そして模型という形で、その面影を感じることが出来る。当時の賑わいに思いを馳せながら、鉄道模型に触れてみるのはいかがだろう。

KATOで楽しむ
上野発の名列車たち
関連製品と共にお楽しみいただけます。



上野駅を発着した名列車たち

ここでは、上野駅でかつて見ることができた名列車たちを取り上げていこう。今回製品化が決定した165系「佐渡」は現在KATOで好評発売中の「アルプス」と並ぶ165系の代名詞とも言える急行列車だ。お馴染みのかぼちゃ色のカラーリングで、上野と新潟を結ぶ列車として、上越新幹線が新潟駅までつながる日まで活躍した。続いて国鉄特急で有名な181系、485系、583系。当時全国での活躍が見られ、上野駅を起点とする優等列車にも多く活躍した車両たちだ。そして初の気動車特急であるキハ81系、客車列車の趣を楽しめる急行「津軽」など、KATOのラインナップでお楽しみいただくことが可能だ。もちろんラインナップはここで紹介した車両以外にも多くあり、各時代を活躍した上野発の名列車たちを是非この機会に触れてみていただきたい。かつての日本の鉄道の第一線で活躍した彼らを見て、触れて、運転して知っていただきたい。



写真撮影：川崎大輔

N 165系 急行「佐渡」

上野から新潟を結んだ有名な急行電車。庄巻の13両編成での運転が行われ、グリーン車2両と半室ビュッフェを備えたサハシ165が売店付のサハ164を備えた豪華な編成だった。模型は編成内で製造時期の異なる車両が繋がれた編成を製品化、165系のバリエーションを楽しめる。

- 10-1488 7両基本セット 予価 ¥21,400+税
- 10-1489 7両増結セット 予価 ¥18,000+税

9月発売予定



N 583系

8月再生産予定

- 10-1237 6両基本セット ¥19,200+税
- 10-1238 モハネ2両増結セット ¥4,700+税
- 10-1239 3両増結セット ¥7,000+税

昼行/夜行の両面で活躍した特急列車。上野発の列車では、昼行は「はつかり」、夜行では「はくつる」「ゆうづる」が有名。



※写真は試作品になります。

5月発売予定 N 485系 200番台

10-1479 6両基本セット 予価 ¥17,800+税
国鉄形特急電車の名門。上野駅発の列車にも多く充当された。車両の組み合わせで様々な列車を再現できる。基本セットの愛称表示には「やまびこ」「雷鳥」「かもめ」「にちりん」を収録。



N 181系「とき・あずさ」

好評発売中

- 10-1147 6両基本セット ¥16,800+税
- 10-1148 6両増結セット ¥12,000+税

151系をベースに出力強化した直流形の特急電車。山岳線仕様の証であるボンネットの赤帯が特徴。上野発の電車としては特急「とき」として上野と新潟を結んだ。

N 10系寝台急行「津軽」

6月再生産予定

- 10-879 6両基本セット ¥12,000+税
- 10-880 5両増結セット ¥10,000+税
- 3069 EF57 ¥7,500+税
- 3069-1 EF57-1 ¥7,800+税

上野 - 青森間を東北本線・奥羽本線経由で結んだ夜行急行列車。津軽地方の帰郷列車や、ふるさとに錦を飾る出世列車として名を馳せた。



N キハ81系「いなほ・つばさ」

7月発売予定

- 10-1497 7両基本セット 予価 ¥19,400+税
- 6064-2 キハ80 初期形 予価 ¥1,700+税
- 6068 キハ82 900 予価 ¥3,200+税

「はつかり」として上野 - 青森間を結ぶ特急形気動車として登場。その後は「いなほ」「つばさ」として活躍、またその間に「ひたち」としての活躍も見られた。旅客輸送の近代化に大きく貢献した。



※写真は試作中の製品になります。



写真撮影：川崎大輔

N 115系 1000番台 湘南色 (JR仕様)

5月発売予定

- 10-1481 7両基本セット 予価 ¥18,800+税
- 10-1482 4両増結セット 予価 ¥10,900+税
- 10-1483 4両セット 予価 ¥11,900+税

国鉄時代、そしてJR化後も活躍した115系。かつては各地で見ることができ、もちろん上野駅発の上越・東北方面への列車も多く存在した。1000番台は耐寒・耐雪に特化した装備を持ち、室内のシートピッチが拡大された車両。